



■子どもの行動の例 ■脱いだ服などを洗濯機(カゴ)に入れない

例)「服を脱ぐ」場面 ■うちの子のできているところを探しましょう!

|                        | できる | 時々できる | できない |
|------------------------|-----|-------|------|
| 「脱いだ服をカゴに入れて」というと返事をする | ●   |       |      |
| 脱衣所に行く                 |     |       | ●    |
| シャツをぬぐ                 | ●   |       |      |
| ズボンをぬぐ                 | ●   |       |      |
| 靴下をぬぐ                  | ●   |       |      |
| 床に置きっぱなしの服を片付ける        |     | ●     |      |
| 脱いだ服を洗濯機(カゴ)に入れる       |     | ●     |      |

子育てヒント

伝わりにくい指示



例【あいまいすぎる指示】

- ・「ちゃんと片付けてね」
- ・「きちんとしてね」

などは、どんな指示をだされているか分かりません。

伝わらない指示は、子どもの困った行動を引き起こすことに繋がる可能性があります。

例【質問形式の指示】

- ・「そろそろ片づける？」
- ・「ここに脱ぎっぱなしで良いんだっ？」

質問形式の指示にも子どもは「いや」と言えるという前提があります。

子どもの困った行動 に対して「まだ小さいから」「そのうちできるようになる」と対応していると、好ましい行動を学ぶ機会が減ることになります。

例) 服を脱ぎっぱなし

脱いだ服を脱ぎっぱなしにすることを、まだ小さいからと親が受け入れてしまうと子どもは、服は脱ぎっぱなしで大丈夫と学んでしまいます。

小さい子どもでも工夫次第ではできること(学べること)があります。

例) 1人で入れられるように低めのカゴをおきましょう。

カゴに入れることができたならほめましょう。

## 例の「服の脱ぎっぱなし」で考えてみましょう。

### ■前向き子育て技術

ルールをつくる

(子育て手帳 P. 32 を参考にしてみましょう)



子どもの間違った行動にはすぐに対応し、好ましい行動を教えることが大切です。それを手助けする1つの方法に「家庭のルール」があります。子ども自身、自分がどうすれば良いか理解がしやすくなります。家族みんなで同じルールに取り組みましょう。

#### 1. 家庭のルール(端的に肯定的な言い方)

**※ルールは、子どもに何をするかを教えるものです。**

例) ○ 脱いだ服はカゴに入れる × 服は脱ぎっぱなしにしない

#### 2. ルールが守れるように事前にルールの確認をする。

例) 服を脱ぐ前にルールを尋ねます。覚えていたらほめます。忘れていたら教えます。

#### 3. ルールが守れるようになるポイント

ルールの中に**すでにできていること**をルールに入れます。そうすると子どもも成功体験をしやすく、ほめられます。頑張らないといけないルールだけだと難しいです。

例) **できていること: 服を脱ぐ**

ルール: 脱いだ服をカゴに入れる

#### 4. ルールが守れた時の対応は、守れたことを具体的に伝えます。

例) 「たろう君、服が脱げたね」「たろう君、服をカゴに入れたね」



### ■子育てのコツ

はっきり穏やかな指示

(子育て手帳 P. 35 を参考にしてみましょう)

※はっきり穏やかな指示は子どもの間違った行動にはすぐに対応し、好ましい行動を教えるものです。

子ども自身自分がどうすれば良いか理解がしやすくなります。

**※ルールを守られなかった時の指示は子どもに「何が悪くて、どうしたら良いのか」を伝えます。**

| 指示の出しかたのポイント | はっきり穏やかな指示とは             |
|--------------|--------------------------|
| 子どもに近づく      | 子どもの腕の長さ                 |
| 子どもと目を合わせる   | 子どもの前でかがむ                |
| 注意をひく        | 「そうくん」と名前をよぶ             |
| どうするかを言う     | 「くつ下は脱いだままにしません。かごに入れます」 |
| 指示に従うまで待つ    | 5秒だまって見守ります。             |
| できたら具体的にほめる  | 「そうくん、くつ下をかごに入れたね」       |

子どもが新しい行動を身につけていく時は、スムーズにできる時ばかりではありません。大切なことは、子どもができた時を見逃さずに、親が認める(ほめる)ことが大切になるでしょう。そのような状況が整っていると、子どもは親からの指示を聞く準備ができていくでしょう。

※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず